

---

# 研 究 紀 要

## 第 7 2 集

---

### 目 次

はじめに	盛一 純平	
研究概要 全体論	濱名 秀晃	2

## よりよい未来を志向する子の育成 — 決める授業をデザインする —

### 理論と実践

国語科	濱名 秀晃・中山 典子・清水 義之	10
社会科	西 勝也・井南 亮佑	24
算数科	石田 美保・服部 美雪・長谷川勝浩	34
理 科	森田健太郎・横川 竜也・岡部佐穂里	48
生活科	天満 弥生	62
音楽科	徳田 典子・本多 春奈	68
図画工作科	野畠 慎二・中川 佑紀	78
家庭科	馳 裕紀子	88
体育科	島貫 由郷・出嶋志津子・山下 裕佳	94
道徳科	永江 優美	108
英 語	乗富 智子	114
情報教育	福田 晃	120

おわりに	河村 真吾	
------	-------	--

---

平成30年（2018年）11月

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校

## はじめに

本校では平成 26 年度～28 年度の 3 年間「考える子を育む」を研究主題に研鑽してきました。問いやこだわりをもつことで学ぶ楽しさを感じ、問う→考える→気付くという考える過程の質的向上をはかってきました。そこから問いやこだわりを解決、実現するための力をつけることが必要であることにさらなる期待をもちました。

平成 29 年度からは、そのためにはどのような力が必要なのか、そしてどのようにその力を身に付けていくのかを実践を通して検証するために「未来を志向する子」を研究主題として研究をスタートさせました。

今の子どもたちがこれから生きようとする未来とはどのような社会であろうか。A I が益々進化し、社会通念もかわり、現在ある職業も半分以上は A I が代行するともいわれています。そこに生まれる新たな課題にどのように挑んでいくのだろうか。予測困難な未来社会です。それらを念頭に、本校の教育目標は「共に生きる力」です。予測困難な未来社会を生き抜く力と豊かな社会の形成者として人間愛のある基礎的な資質を育むことを目標にしています。さらに教育方針は「make difference (多様性の尊重) make harmony (協調する力)」とし、ちがうことを尊重しそこから新たなものを見いだす力や、様々なちがいと混ざり合いそこから新たなものを生み出す力を育むことをコンセプトとしています。

「未来を志向する子」もしかりです。よりよい未来を願いそのために必要とする力を見だし、実践をくり返し明確化しようとしています。その手がかりとしているのが「決める」です。「決める」力や「決める」ことの価値を明確にして授業をデザインし検証しています。1 年次の研究を通して気付いたこと、この「決める」こそが未来を生き抜く大切な力ではないかという思いを 2 年次では、学びの原動力を形成する、判断する、未来に役立てる、の三つの「決める」に分類し、より確かなものへ実践検証していきます。本研究では、この力が教育目標と共に、未来社会を生き抜くための力のひとつになることと期待しています。

今年度は、働き方関連法案が成立し働き方改革に動いています。本校も例外なく教員のよりよい働き方を模索しています。そのため研究に対する取り組みも時間軸では減少している反面、組織改革や方法を見直し、より効率的に、そしてより深く取り組む工夫をしながら進めています。まだまだ未熟な研究ではありますが、皆様からのお力添えを賜り次の発展へつなげ、未来社会に生きる子どもたちの力としたい、と願っております。何卒忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

最後に、本校の研究を支えてくださる多くの皆様に心より感謝申し上げ、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますことをお願いして、巻頭の言葉といたします。

平成 30 年 11 月

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校 校長 盛一 純平